## 第265回:どこの国のジョークか推理せよ

中国は明日が旧暦の大晦日、明後日が新年。従ってけふは旧暦(きうれき)の正月(しやうぐあつ)らしい話題にしやう。巨龍の力は動作が緩慢で、最初はゆっくりとしか動かないが、一旦歯車が回り始めると猛烈なスピードで突っ走る。つい最近までの高度成長がその典型である。しかし、まわるまわるよ時代はまわる、世界を席巻した中国の高度成長は、その後の人件費の高騰、人口構造の変化、周辺諸国の台頭等により、いつのまにか終わってしまった。中国政府もそれを認めており、これから続くであろう経済成長率6~7%の状況は経済の失速ではなく、これが新しい時代の標準、「新常態(New Normal)」と云い始めており、新常態と云う造語は去年の流行語ナンバーワンになった。いまの中国経済の課題は、いつ高度成長に復帰するかではなく、高度成長から安定成長へのギアチェンジに成功するか否かである。

真面目な話題はこのくらいにして、高度成長の代わりに、いま中国を猛烈な勢いで突っ走っているのは、 腐敗追放キャンペーン。旗振り役の大元締め習近平から見れば、これは悪漢に下す正義の鉄槌だが、切り 捨てられた周永康に云わせると「血の粛清」・・・暴虐の雲光を覆い~敵の嵐は荒れ狂う~♪だろう。

アカの帝国に粛清はつきもの、過去最大の粛清の主役はスターリンと毛沢東だ。スターリンの粛清は規模が析外れに大きかったことから、「血の粛清(Blood Purge)」や「大粛清(Great Purge)」と呼ばれ、最盛期の1937年から翌年にかけて、約135万人のロシア人が即決裁判で有罪判決を受け、半数が死刑、残る半数が強制収用所や刑務所に送られたと云う。最大の被害者はソ連を築き上げた赤軍であり、当時の元帥5名の内の3名、以下大将15名の13名、中将85名の62名、少将195名の110名、准将406名の220名が殺されたというから凄まじい。ナチスドイツが欧州を席巻しソ連に危機が迫るなか、醜の御楯の赤軍は瓦解寸前の状態に陥った。粛清の推進役を果たした組織は「内務人民委員部(NKVD)」という国家組織であり、このゲシュタポに匹敵するエヌカーヴェーデーを指導したのがスターリンの腹心のベリヤ副首相であった。以下はそんな時代のアネクドート。

スターリンがベリヤと二人で夕食をとっていた。スターリンはベリヤが肉を手づかみでワシワシ食っている のを苦々しく見ていたが、遂に我慢できなくなって怒鳴った。「ベリヤ同志、ナイフを使え!」。それを聞いた ベリヤは即座に立ち上がった。「書記長同志! 次にぶっ殺すのは誰で?!」

ジョークと云うのは便利なもので、登場人物をヒットラーとヒムラー、毛沢東と康生、東条英機と特高のようにいくらでもバージョンを変えることができる。言論の自由が制限されている中国では、搦め手から迫るこの種の政治ジョークがインターネットや携帯電話のショートメッセージを通じて、あっという間に全国に広まる。なにしろ携帯電話世界一の国だ。中国の携帯電話大手三社が発表した昨年1月時点の携帯電話加入者数がなんと12.4億人(M社7.7億人、U社2.8億人、T社1.9億人)。そろそろ中国の総人口を携帯電話の加入者数が超える時代であり、携帯電話に対する言論統制は事実上不可能だ。

だから海外ジョークはあっという間に中国版に転換され人口に膾炙する。しかし北京出身の友人によると

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。



このスターリンとベリヤの小話を中国バージョンにして、腐敗追放運動の総責任者である習近平国家主席と、習主席に次ぐ実力 No2 の王岐山規検委主任に置き換えてもちっとも面白くないそうだ。理由は習王コンビ、どこからみても主従ではなく従主に見えるからだという。面構えで人を判断するのは早計で王岐山の見栄えは必ずしも良くない。筆者の業界では国際電話を誰かさんに盗聴されると困るので、ときに隠語を使うことがあり、王岐山は髪型が少し不自然な男だから、「ヘアスタイル」、もしくは直裁に「アデランス」と呼んでいる。しかし、この異相のアデランスはただ者ではない。黒旋風李逵と智多星呉用の主従関係では水滸伝が成立しないように、何かそんなバランスの悪さが習王コンビにあり、貫録十分の王先生は笑いの世界の主人公には不向きかな。因みに習閣下のコードネームは、ドラえもんに登場する大柄なJ、ないしは赤塚不二夫の名作の主人公 B。これでいいのだ。そういえば北京の友人からこんなジョークが届いた。最近インターネットを介して大評判となり、洛陽の紙価を高めている作品だそうな。

- Q: 某国では最近当局がデマを流布した容疑で多数のネット市民を拘束しているが、なぜなのか。
- A:有害なデマを垂れ流すのは当局の専権事項だからだ。
- Q:最近某国政府はふしだらな売春婦を徹底的に取り締まっているが、なぜなのか。
- A: 似た者同士は嫌い合うからだ。
- Q: 某国の執政党は最近暴力団組織を徹底的に壊滅させているが、なぜなのか。
- A: 党組織は競合する同業者の存在を許さないからだ

どこの国を揶揄するジョークかよく分からないが、どうもこの国では国民の文化レベルの方が政府の文化 水準よりも高いようだ。この作品の唯一の問題点はこれがジョークなのか、それとも単なる事実の記載に過 ぎないのか判然しないことだ。以下は筆者が北京の友人にきのう返信したジョークだ。むろん筆者の作品で はなく、ネットサーフィンで拾ってきたものだ。

アメリカの大学生が中国の大学教授に「中国史を勉強するには、どこへ行けばいいの」と訊ねた。

教授はこう答えた。「もし中国史の研究だけであれば、わざわざ中国に来る必要はない。 唐朝を研究するなら日本へ、宋朝なら韓国、元朝ならモンゴル、明朝ならミャンマーかべトナム、清朝なら香港、中華民国なら台湾へ行けばいい。 もし文化大革命を研究したければ北朝鮮へ行けばいい。

レッズの方々に対する御無礼、おめでたい春節に免じて請御海容。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年2月17日

### 筆者プロフィール

### 杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、 三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学 同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

⇔東洋証券

## ご投資にあたっての注意事項

# 手数料等およびリスクについて

- (1) 株式の手数料等およびリスクについて
- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420%(税込み)、最低 3,240 円(税込み)(売却約定代金 が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額)の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8640%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。 外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および 為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、 本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320%(税込み)、最 低 2,700 円(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株 価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれ があります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券 等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

